

I. 研修の開催に関すること

- 1. 研修開催場所の箇所数 ( 1 )箇所
- 2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと(開催地域や開催会場の選定にあたって考慮した事柄があれば、ご自由にご記入ください)

県内医療機関等の所在地の状況及び交通機関の利便性等の状況から、県中心部の松本地区を開催地域とした。

- 3. 研修開催回数 延べ( 1 )回

II. 研修受講者に関すること

- 1. 研修受講者数等(実人員)  
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回	(40)名	( 40 )名
第2回	( )名	( )名
第3回	( )名	( )名

※ 必要な場合、行を挿入した上でご記入ください

※ 各講義・演習ごとに部分的に受講する研修形式の場合には、当該講義・演習ごとの人数を記入してください  
(講義・演習ごとの記入が不可能な場合は、延数を記入願います)

2. 研修受講者の所属施設  
(実数で記入下さい)

(記載例) -----

【応募者数・参加者数】  
Aさんが、4月と10月に  
研修に参加した場合に  
「1」と計上

施設種別	応募者数	受講者数
病院	(40)名	( 40 )名
診療所	( 0 )名	( 0 )名
助産所	( 0 )名	( 0 )名
介護老人保健施設	( 0 )名	( 0 )名
指定訪問看護事業所	( 0 )名	( 0 )名
その他 ( )	( 0 )名	( 0 )名

3. 研修受講者のうち、病院の  
場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	( 3名 )
100～200未満	( 2名 )
200～400未満	( 7名 )
400床以上	( 28名 )

4. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等について  
ご自由にご記入ください)

- 受講資格  
平成23年度に就職した新人助産師、卒後2年目の助産師
- 選考基準等  
なし

5. 事業の周知及び公募方法(ご自由にご記入ください)

- 事業委託先の長野県看護協会を通して、看護協会内ホームページへの掲載、看護協会員向け看護教育計画冊子等の配布
- 県内の病院総看護師長(看護部長)を参集範囲として開催した県主催会議の場での情報提供

Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式
- B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
8	新人助産師に必要な知識・態度を学び、新人同士の交流を図る。	5	【講義】 ・新人助産師に期待すること、最近のお産をめぐる状況、助産師の教育とキャリア、助産技術(到達目標) ・助産師としてお産をめぐる生命倫理 活動報告 ・先輩助産師(5名)の活動報告 【G・W】 新人助産師の情報交換

- ※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください
- ※ 時期には実施月をご記入ください。

### 3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ( 1 )名  
②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 ( 1 )名  
施設の教育担当者(教育責任者等) ( 5 )名  
専門看護師・認定看護師 ( 0 )名  
その他 ( 2 )名

その他の職種： 職種等( 該当なし ) (0)名  
職種等( ) ( )名  
職種等( ) ( )名

### 4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

( 1 )日 ( 5 )時間

5. 4. の内訳 講義 ( 3.5 )時間 演習 ( )時間  
その他(茶話会形式のG・W) ( 1.5 )時間 オリエンテーション ( )時間

## IV. 事業の評価等に関すること

### 1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

○本研修の受講にあたっては、受講生の所属医療機関の病床数に関わらず、当該医療機関に対し、県の事業費の範囲内で代替え職員を手当てする費用を補助するようにした。

○研修会の受講対象者を新人助産師だけでなく、卒後2年目以内の助産師までとして、より多くの方に受講していただけるようにした。

## 2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

○受講者40名の内訳は、助産師資格取得1年目の者が25人、同2年目の者が15人で、所属施設は、全員が病院であった。また、受講者を病院規模別にみると、400床以上の病院に勤務する者が70%(28人)を占める中、100床未満の病院からも3名の受講があった。

○新人助産師の中には、看護師としての臨床経験を経ている者と、まったく臨床現場が初めての助産師とがあり、新卒新人助産師にとっては、臨床現場の経験有無の違いから生じる考え方・感じ方の違いを感じていたようである。

○先輩助産師の活動の実際や、キャリア(仕事と家庭の両立)の話は、今後助産師を続けていく上で参考になると共に、新人助産師同士の交流の場となり、互いに思いを語り合う場となった。

○全体として、受講者からの研修会に対する理解度・満足度は共に高く、本研修会による効果は得られたと考える。

## V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託    A 委託していない     B 委託している    委託先(長野県看護協会)